

## 競技上の注意・連絡事項

1. この大会は2009年日本陸上競技連盟競技規則並びに大会規定準じて行いますが、参加者の年齢を考慮した教育的配慮のもとに競技を進行します。
  2. 各クラブの監督による受付(8:50まで)を召集手続きとします。棄権する選手がいる場合には受け付けにて届け出て下さい。
  3. 各団体の引率者は競技開始時刻の20分前に競技開始場所に選手を誘導し、集合させて下さい。リレー競技は、各走者のスタート地点に各団体で行かせて下さい。
  4. スパイクシューズは使用可です。ただし、7mm以下の平行ピンとします。なお、はだしでの参加は認めません。
  5. 100mおよびリレーのスタートはクラウチングスタートとします。ただし、3年生についてはスタンディングスタートとし、スターティングブロックは使用しません。なお、小学生全国大会ルールに準じて、フライングについては、従来どおりの旧ルール(同じ選手が2回フライングをした場合、その選手が失格)を適用します。
  6. セパレートレーンを使用する種目(100m, 4×100mR)では、必ずプログラム記載通りにレーンを使用して下さい。
  7. リレー競走におけるテークオーバーゾーン手前からの助走マーク(10mの補助ゾーン)の使用を認めます。ただしマーカー(テープ)は布ガムテープをご使用下さい。他のテープを使うと競技場をいためる可能性があります。なお競技後マーカー(テープ)は各チームで外して下さい。(マーカーが必要な団体の責任者は、受付にてお申し出下さい。)
  8. リレーのオーダー票については、必ず最初の団体受付時に提出してください(予選)。決勝は、競技の1時間前に受付に提出してください。(変更の場合のみ) なお、リレー選手の変更は、個人種目参加者の中から2名まで変更できます。ただし、1人2種目(リレーを含む)という大会規定に注意して下さい。なお、同じ団・クラブチームでも、Bチーム登録の選手をAチームに移動するなどという事は出来ません。
  9. 80mHのハードルは、高さ70cm、幅120cm、ハードル数9台、スタートから1台目まで13m、インターバル7m、最終ハードルよりフィニッシュまで11m、すべて男女共通です。
  10. 走幅跳の試技は3回です。(3種競技者も)
  11. 走高跳の跳び方については、「はさみ跳び」及び「またぎ越し」とし、必ず足から着地して下さい。足から以外の着地は認められません。なお、練習は男女とも95cmで行い、本番は100cmからはじめます。120cmまでは5cmきざみで、それ以降は3cmきざみとします。(ただし、出場選手によって多少上下することがあります) パスをする選手は、試技の前に走高跳の審判に申し出て下さい。
  12. ジャベリックスローの試技は3回です。器具は、主催者が認めた物を使用して下さい。
  13. 賞状は、決勝結果の通告後に本部席前でお渡ししますので、結果放送終了後本部席の所へご集合ください。個人、リレーともに8位まで賞状があります。100m、リレーについては決勝終了時刻が遅いために全競技終了後に賞状を渡します。
  14. 10名~19名参加する団体は帯同審判員を1名以上、20名以上参加する団体は2名以上出して下さい。監察員等の審判をお願いします。(プログラムと昼食は準備します)
  15. 帯同審判員の方は、開会宣言後すぐに打ち合わせをしますので、受付場所前にご集合をお願いします。
  16. 応援はスタンドからお願いします。スタンドを降りてきての応援等は、競技運営の妨げになる場合がありますのでご注意ください。
  17. 競技上は公の場です。ゴミなどは、必ず持ち帰ってください。
  18. 本大会の全記録(予選・決勝)結果が必要な方は、選手受け付け(本部席前)横にある封筒に郵便番号・住所・氏名を記入し、500円(送料込み)を入れ申し込んでください。全記録結果を入れ、郵送いたします。
- \* 競技前の練習については、当日指示しますので、ルールを守って行ってください。